

前橋空襲と復興資料館検討委員会 委員略歴

岩根 承成

群馬県立県民健康科学大学講師（歴史学）。群馬県歴史教育者協議会会長。群馬県立高校教諭、群馬大学講師、前橋国際大学講師を歴任。編著に「戦争と群馬—古代～近代の戦場と民衆」（みやま文庫）、論文に「高崎第百十五連隊の『戦闘詳報』—日中戦争下の南京攻略戦」（「高崎市史研究」12）、「高崎十五連隊 二つの日清戦争『戦記』」（「高崎市史研究」18）、「BC級戦犯裁判にみるビルマ・カラゴン村事件」（「前橋国際大学論集」7）、「前橋空襲の証言・記録から見えてくるもの」（「育ちと学び」25）、「前橋出身兵士の「太平洋戦争」戦死者統計から見えてくるもの」（「育ちと学び」31）など。

吉良 芳恵

日本女子大学名誉教授。萩原延寿（『遠い崖』）の資料助手、横浜開港資料館調査研究員、日本女子大学教授などを歴任。論文に「第一次世界大戦と女性の社会進出」（見城梯治編『渋沢栄一と「フィランソロピー」⑥社会を支える「民」の育成と渋沢栄一』（ミネルヴァ書房）、「徴兵制における「所在不明者」—昭和期長野県の兵事資料から」（上山和雄編『帝都と軍隊—地域と民衆の視点から』（日本経済評論社）など。

手島 仁

群馬地域学研究所代表。群馬県立高校教諭、県史編纂室主事、県立歴史博物館学芸員、前橋学センター長などを歴任。共編著に『住谷天来と住谷悦治—非戦論・平和論—』（みやま文庫）、論文に「軍事都市高崎の陸軍墓地」（群馬県立歴史博物館紀要）、「海軍従軍画家住谷磐根」（同）、「日露戦争軍人木像」（『戦争のある暮らし』、水声社）など。